

賛助会員

有限会社浜野顕微鏡 (〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-18)

株式会社ヤクルト本社研究所 (〒186-8650 東京都国立市谷保 1796)

神協産業株式会社 (〒742-1502 山口県熊毛郡田布施町波野 962-1)

理研食品株式会社 (〒985-8540 宮城県多賀城市宮内 2-5-60)

マイクロアルジェコーポレーション株式会社 (〒500-8148 岐阜県岐阜市曙町 4-15)

日本製薬株式会社ライフテック部 (〒598-8558 大阪府泉佐野市住吉町 26)

共和コンクリート工業株式会社 (〒060-0808 北海道札幌市北区北 8 条西 3 丁目 28 札幌エルプラザ 11 階)

(株) 環境総合テクノス (〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町 1-3-5)

(株) 日本港湾コンサルタント (〒140-0000 東京都品川区西五反田 8 丁目 3 番 6 号)

編集後記

和文誌藻類は3月、7月、11月に発行していますが、今年は編集作業が遅れ、2号と3号をお手元にお届けするのが大幅に遅れてしまいました。この場をお借りし、会員の皆様に深くお詫びします。来年は日本藻類学会創立60周年の記念すべき年です。記念行事の準備も進んでいますし、和文誌藻類でも記念記事を企画しています。創立40周年の若手メッセージ(藻類40巻)には、現在の各分野を先導する蒼々たる方々が寄稿されています。10年前の藻類(50巻)には、駄文ながら私も書かせていただきました。巻頭でお知らせしているとおり、60周年の記念記事にメッセージを寄稿して下さる若手の方を募集します。若手が育たない学会に未来はありません。学会の将来を担う皆さんのご寄稿をお待ちしています。(寺田)



コケモドキは地衣類? 藻類の迷訳看板発見

観光地には英語で書かれた看板がありますが、誤訳や意味不明な文章を時折見かけます。藻類が観光地の看板に登場することはほとんどありませんが、とんでもない迷訳(ほぼ誤訳)を見つけたので紹介します。鹿児島市の活火山、桜島には園山池という小さな海跡湖があり、観光客が立ち止まる場所のひとつになっています。道路沿いの看板には紅藻コケモドキ属藻類の生育地であることが紹介されていますが、肝心のコケモドキは「....kokemodoki richen (地衣類)」と訳されています(写真)。この英文は左の和文の直訳なのですが、フジマツモ科(Rhodomelaceae)が「Fujimatsumo Family (藤松藻一家?)、コケモドキ属(*Bostrychia*)が「Kokemodoki Genus」という有様です。外国人が読んでも全く理解できない文章に思わず苦笑してしまいました。ちなみに園山池は道路沿いの崖の下にあり、この場所から池を望むことはできません(池に下りる道もありません)。看板だけを見て次に移動するという不思議な観光地です。誰が翻訳者? 決して私ではありません。というよりも、設置のときに連絡がほしかった・・・(寺田)



Encyclopedia, Genera of Freshwater Algae

淡水藻類

淡水産藻類属総覧

山岸 高旺 著 B5判上製・総頁 1444 頁・定価 52500 円 (本体 50000 円)

本書は淡水における藻類, 約 1500 属を収録した淡水藻類の属の総覧である。配列は淡水藻類を 12 分類群に分ける Bourrelly の分類系を採った。これに加え異名とされるもの、関連するものをさらに約 800 属所収する。60 年に及ぶ著者の淡水藻研究の集大成として、淡水藻類の全体像に迫る大著である。

本文は、それぞれの分類群の「細胞・藻体」「生殖・生活史」「分類・分類表」を示した後、それぞれの属の記載が中心となり、線画による基本的な図版を示しながら、属の分類基準とされる形態形質、生殖形質、生育状況を述べる。また類似属との関係や産状など特記事項も詳細に記す。学名総索引をはじめ、和文、欧文の事項索引、また属名のカナ読み索引を付した。

はじめに／凡例／淡水藻類 序 (01) 藍藻類 Cyanophyceae (01 付) 灰青藻類 Glaucophyceae (02) 紅藻類 Rhodophyceae (03) 黄色鞭毛藻類 Chrysophyceae (04) 黄緑色藻類 Xanthophyceae (05) 珪藻類 Bacillariophyceae (06) 褐色鞭毛藻類 Cryptophyceae (07) 渦鞭毛藻類 Dinophyceae (08) 緑色鞭毛藻類 Chloromonadophyceae (09) 褐藻類 Phaeophyceae (10) 緑虫藻類 Euglenophyceae (11) 緑藻類 Chlorophyceae (12) 車軸藻類 Charophyceae 学名総索引／属名カナ読み索引／和文事項索引／欧文事項索引

新日本海藻誌 — 日本産海藻類総覧 —

吉田 忠生 著 B5判・総頁 1248 頁・定価 48300 円 (本体 46000 円)

本書は古典的になった岡村金太郎の歴史的大著「日本海藻誌」(1936) を全面的に書き直したものである。「日本海藻誌」刊行以後の約 60 年間の研究の進歩を要約し、多様な知見を盛り込んで、日本産として報告のある海藻 (緑藻、褐藻、紅藻) 約 1400 種について、形態的な特徴を現代の言葉で記載する。植物学・水産学の専門家のみならず、広く関係各方面に必携の書。

有用海藻誌 海藻の資源開発と利用に向けて

大野 正夫 編著 B5判・総頁 592 頁・定価 21000 円 (本体 20000 円)

本書は海藻の生物学の解説にはじまり、応用の具体的事例を数多く紹介するとともに、今後期待される新分野、機能性成分についても多くの知見を盛り込む。生物学編、利用編、機能性成分編の 3 編 31 章から構成され、各分野で長く研究にかかわってきた多彩な執筆者が、それぞれの専門分野を詳述する。

小林弘珪藻図鑑 *H. Kobayasi's Atlas of Japanese Diatoms based on electron microscopy*

小林 弘・出井雅彦・真山茂樹・南雲 保・長田敬五 著 B5判・596 頁・定価 35700 円 (本体 34000 円)

本書は、珪藻の分類学の成書として長く刊行が待たれていた待望の書であり、斯界の第一人者、故小林弘博士の名を冠するものである。プレートとその解説をはじめとし、特殊な用語が多く使われる珪藻の殻構造の解説を電顕写真や線画を添えて分かりやすく示した。分類体系には最新の研究成果を盛り込む。用語の英語、日本語、ラテン語の一覧表や、学名と和名の対照表などを付し読者の便宜を図った。

淡水珪藻生態図鑑 群集解析に基づく汚濁指数 DAIPo, pH 耐性能

渡辺仁治 編著 浅井一視・大塚泰介・辻 彰洋・伯者晶子 著 B5判・784 頁・定価 34650 円 (本体 33000 円)

日本のみならず世界各地から約 1500 のサンプルを採集、膨大なサンプルの生態情報を処理検討し、約 1000 種の珪藻についてその結果を分かり易くまとめる。生態情報の妥当性を期するため、すべてのサンプルを統一条件下で採集し、好清水か好汚濁か=きれいな水を好むのか、汚れた水を好むのか等を判断する環境指標としての珪藻群集の適性を、多くの図版で具体的に示す。

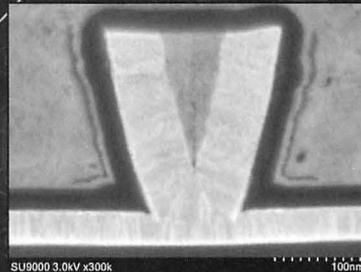
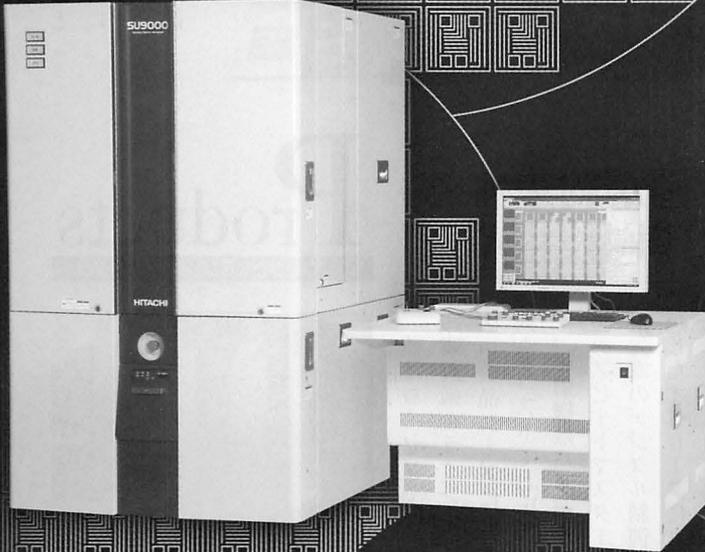
日立超高分解能電界放出形走査電子顕微鏡

SU9000

新登場

最高峰のSEMを最前線に

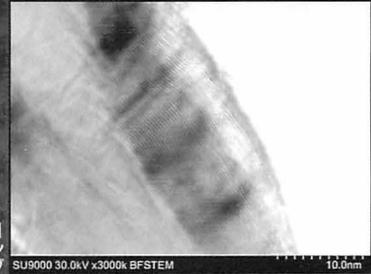
半導体デバイスの微細化・高集積化に加え、ナノ粒子を用いた先端材料の開発には、ナノレベルでの形態観察が必要不可欠です。このような背景から日立ハイテクでは、サブナノメートルの分解能を保证する走査電子顕微鏡 (SEM) の開発に取り組んできました。その結果、高輝度な電子銃と低収差レンズを組み合わせることで、先端市場の要求に応えるSEMを開発し、信頼と実績を築いてきました。



【試料】
ハードディスク
ドライブヘッド

SU9000 3.0kV x300k

100nm



【試料】
カーボン
ナノチューブ

SU9000 30.0kV x3000k BFSTEM

10.0nm

- 試料ダメージの軽減などを目的とした低加速電圧観察時の分解能を向上
- 低収差と高輝度安定プローブ電流を両立した新開発コールドFE電子銃
- コンタミネーションの影響を軽減させた超高真空試料室
- さまざまな設置環境下でも、高いパフォーマンスを実現するための高剛性フレームと耐騒音カバー
- ユーザビリティを追求した新ユーザーインターフェイスと24.1型ワイドモニター

(世界最高分解能: SEM像、加速電圧30kV条件、2011年4月時点)

最先端を、最前線へ。

株式会社日立ハイテクノロジーズ

本社 〒105-8717 東京都港区西新橋一丁目24番14号 電話 ダイヤルイン (03) 3504-6111
インターネットでも製品紹介しております。以下のURLへアクセスしてください。

URL <http://www.hitachi-hitec.com/science/>

北海道(札幌) (011) 707-3200
四国(高松) (087) 814-9911

東北(仙台) (022) 264-2218
九州(福岡) (092) 778-3015

中部(名古屋) (052) 219-1670
沖縄 (098) 863-8925

関西(大阪) (06) 4807-2552

Digital

デジタル・コミュニケーション・ワークフロー

多様化する印刷・出版ニーズに 優れた瞬発力でお応えします

私たちイセブは、筑波研究学園都市を中心とする地域で培ったお客様との信頼関係を礎に、お客様一人ひとりに最適な印刷ソリューションのご提案をめざしています。高品質な学術書・論文集等にすぐれた編集ワークとクリエイティブなデジタル提案が可能なデザインワークを特長とする制作部門に、フルデジタル化によるワークフローを構築。完成したデジタルデータをCTPシステムでダイレクトに刷版出力することで、印刷・製本工程とあわせて迅速な生産体制を確立し、高品質の印刷物をスピーディかつ低価格でご提供しています。



最新鋭の設備が約束する 確かな印刷技術革新

Products

プリプレス&プレス・ワークフロー

私たちイセブでは、最新鋭の印刷設備をラインナップし、幅広い商品ニーズに高品質・短納期・低コストでお応えしています。印刷機はハイデルベルグ社製のスピードマスターを設備し、最先端のデジタル制御技術と卓越したオペレータによる厳しいチェック体制が、つねにハイグレードな印刷品質をお約束します。また、個人ユーザーによる自分史や詩歌集、学術論文など、モノクロを主体とする小ロットの印刷媒体には、デジタルデータから直接印刷するオンデマンド印刷でフレキシブルに対応しています。



事業所のご案内

ISEBU Service Station

お客様の多様な印刷・出版ニーズに迅速できめ細かいサービスを提供する営業センター

〒305-0005
茨城県つくば市天久保2-11-20
Tel. 029-851-2515
Fax. 029-852-8501
ss@isebu.co.jp
営業時間：9:00～17:30



ISEBU Printing Station

最新鋭のデジタルワークフローでデザイン・編集から印刷、製本までの一貫生産を行う印刷工場

〒305-0812
茨城県つくば市東平塚389
Tel. 029-856-4166
Fax. 029-856-4147
ps@isebu.co.jp
営業時間：9:00～17:30



下記の出版物をご希望の方に頒布いたしますので、学会事務局（庶務）までお申し込み下さい（価格は送料を含む）。

1. 「藻類」バックナンバー

各号、会員価格 1,750 円、非会員価格 3,000 円；30 巻 4 号（創立 30 周年記念増大号，1-30 巻索引付き）のみ会員価格 5,000 円，非会員価格 7,000 円；欠号 1-2 巻全号，4 巻 1，3 号，5 巻 1，2 号，6-9 巻全号。

2. 「藻類」索引

1-10 巻，会員価格 1,500 円，非会員価格 2,000 円；11-20 巻，会員価格 2,000 円，非会員価格 3,000 円；1-30 巻（創立 30 周年記念），会員価格 3,000 円，非会員価格 4,000 円。

3. 山田幸男先生追悼号

藻類 25 巻増補，1977，A5 判，xxviii + 418 頁。山田先生の遺影，経歴，業績一覧，追悼及び国内外の藻類学者より寄稿された論文 50 篇（英文 26 篇，和文 24 篇）を掲載。価格 7,000 円。

4. 日米科学セミナー記録

Contributions to the systematics of benthic marine algae of the North Pacific. I. A. Abbott・黒木宗尚共編，1972，B5 判，xiv + 280 頁，6 図版。昭和 46 年 8 月に札幌で行われた北太平洋産海藻に関する日米科学セミナーの記録で，20 篇の研究報告（英文）を掲載。価格 4,000 円。

5. 北海道周辺のコンブ類と最近の増養殖学的研究

1977，B5 判，65 頁。昭和 49 年 9 月に札幌で行われた日本藻類学会主催「コンブに関する講演会」の記録。4 論文と討論の要旨。価格 1,000 円。

6. Proceedings of Algae 2002

藻類 52 巻特別号，2004，A4 変形判，253 頁。平成 14 年 7 月につくば市で開催された第 26 回日本藻類学会大会・日本藻類学会 50 周年記念行事・第 3 回アジア太平洋藻類学フォーラム合同会議（Algae 2002）のプロシーディング集。43 篇の論文・レビューを掲載。価格 3,500 円（送料込み）。

藻類

第 59 巻第 3 号

2011 年 11 月 5 日印刷

2011 年 11 月 10 日発行

© 2011 Japanese Society of Phycology

日 本 藻 類 学 会

禁 転 載
不 許 複 製

編集兼発行者

寺田竜太

〒 890-0056 鹿児島市下荒田 4 丁目 50-20

鹿児島大学水産学部水産学科

Tel 099-286-4131

Fax 099-286-4133

E-mail terada@fish.kagoshima-u.ac.jp

印刷所

株式会社イセブ

〒 305-0005 つくば市天久保 2-11-20

Tel 029-851-2515

Fax 029-852-8501

発行所

日本藻類学会

〒 060-0810 札幌市北区北 10 条西 8 丁目

北海道大学大学院理学研究院自然史科学部門

Tel 011-706-2745

Fax 011-706-4851

藻類

The Japanese Journal of Phycology (Sôru)

第59巻 第3号 2011年11月10日

目次

日本藻類学会第36回大会 - 札幌・2012- のご案内

日本藻類学会ホームページ URL 変更のお知らせ

学会ロゴ募集のご案内

60周年記念特集における若手会員からのメッセージ募集のご案内

周藤靖雄・大谷修司：気生藻 <i>Cephaleuros</i> 属5種の各種樹木生葉への人工接種	131
八谷光介・清本節夫・吉村 拓：長崎県西彼杵半島西岸におけるホンダワラ属3種の季節的消長	139
富塚朋子・宮田昌彦：木簡に記述された海藻 —7世紀～8世紀における海藻利用—	145
田中次郎：横浜康継氏が第4回海洋立国推進功労者表彰（内閣総理大臣賞）を受賞	154
民俗藻類学の旅	
木村光子・工藤孝浩：神奈川県・瀬戸神社の「無垢塩祓ひ」神事とアマモ	155
藻類学最前線	
吉田昌樹：藻類リファイナリーの現状と展望	159
仲田崇志・永益英敏・大橋広好：「第18回国際植物学会議（メルボルン）で変更された発表の要件： 電子発表の意味するところ（Changes to publication requirements made at the XVIII International Botanical Congress in Melbourne: what does e-publication mean for you. Knapp, S., McNeill, J. & Turland, N. J. <i>Taxon</i> 60: 1498-1501, 2011）」の紹介と日本語訳	163
Sandra Knapp・John McNeill・Nicholas J. Turland（訳：仲田崇志・永益英敏・大橋広好）： 第18回国際植物学会議（メルボルン）で変更された発表の要件：電子発表の意味するところ	164
書評・新刊紹介	
野呂忠秀：海藻バイオ燃料 Seaweed Bio Fuel（能登谷正浩監修）	168
英文誌（ <i>Phycological Research</i> ）59巻1・2号和文要旨	169
学会録事、他	174
学会シンポジウム情報	175
入会申込・投稿案内	176
会則	178
コラム【遊藻子】寺田竜太：九州でイギリス料理？	174
コラム【遊藻子】寺田竜太：コケモドキは地衣類？ 藻類の迷訳看板発見	179